

報告 2

平成 28 年度地方教育行政功労者表彰及び教育者表彰（文部科学大臣表彰）について

このことについて、本県から下記の者が受賞しましたので、報告いたします。

1 地方教育行政功労者表彰について

「地方教育行政功労者表彰」は、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とするものです。

なお、表彰式は平成 28 年 10 月 14 日（金）12 時 20 分より文部科学省講堂において行われました。

○ 被表彰者及び主な功績

氏名	略歴 (期間)	主な功績
あらえ 新江 つよし 侃	旧黒羽町教育委員会教育長 (H13.4.1～H17.9.30) 大田原市教育委員会教育長 (H22.8.13～H27.9.30)	教職員の傾聴力の向上に加え、児童生徒の自尊感情を高めることを目的に、自分は人の役に立つ存在である自己重要感の醸成を市内全校に浸透させるとともに「ありがとう運動」を推進し、授業や教育活動全般において、潤いと心豊かな人間関係の構築に多大なる貢献を果たした。
こだか 小高 かずひろ 一紘	旧大田原市教育委員会委員 (H2.10.1～H17.9.30) 旧大田原市教育委員会委員長 (H4.10.1～H7.9.30) 旧大田原市教育委員会委員長 (H14.10.9～H17.10.8) 大田原市教育委員会委員 (H17.10.1～H27.9.30) 大田原市教育委員会委員長 (H23.10.1～H27.9.30)	教育委員を 25 年間、そのうち委員長を 10 年間にわたり務め、教育行政にかける情熱と創意に富む取り組みで地域や市の教育力向上に尽力した。小中学校の統廃合の実現、市の給付型奨学金の導入を提唱、発足させ、先進的な制度の導入に貢献した。

2 教育者表彰について

「教育者表彰」は、学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ、これを表彰することを目的とするものです。

なお、表彰式は平成28年11月29日（火）12時20分より国立劇場小劇場において行われました。

○ 被表彰者及び主な功績

氏 名 (職 名)	略 歴 及 び 主 な 功 績
はぎわら しんじ 萩原 伸二 (栃木県立宇都宮女子高等学校長)	公立学校に27年6ヶ月間、県教育委員会に5年間勤務する。 これまでの教育実践や教育行政での経験を生かし、アクティブ・ラーニングなどの最新の教育情報を教員・生徒に発信した。そして生徒が個々にもつ能力を最大限に伸ばす学校づくりに大いに貢献した。
ほんだ ひとし 半田 均 (宇都宮市立一条中学校長)	公立学校に15年6ヶ月間、国立学校に7年間、市教育委員会に14年間勤務する。 地域学校園内の各小学校と連携し、各種ボランティア活動やあいさつ運動を充実させ、生徒一人一人の主体性や思いやりの心、奉仕の精神の育成に取り組んだ。
たかやま ゆういち 高山 裕一 (宇都宮市立西原小学校長)	公立学校に28年6ヶ月間、国立学校に9年間勤務する。 学校、家庭、地域社会との連携を密に図るとともに、保護者や地域の人々の意見や要望を的確に受け止めながら、学校教育の充実・改善を図った。